

【別紙 1】

ファインバブル水の安全性について

ファインバブル水（20 mL/kg）について、マウスを用いた単回投与毒性試験を行いました。その結果、観察期間中に異常を認めませんでした。結果は、次に示す通りです。

【単回投与毒性試験の結果】

動物	性	LD50 値 (mL/kg)
マウス	雄	>20
	雌	>20

LD50：半数致死量。急性毒性の指標として使用される数値で投与した動物の半数が死亡する用量をいう。

使用したウルトラファインバブル水

原水は、超純水

気体種：空気

ウルトラファインバブル個数濃度：約 4.6 億個/mL 以上

使用した対照水

注射用水

【概要説明】

以下に概要説明を示します。

検体など

- ・試験は、OECD Guideline for Testing of Chemicals 420(2001)に準拠しました。
- ・使用したファインバブル水は、超純水を用いて生成しました。
- ・試験には、気体種は空気で、あるファインバブル発生機において生成したウルトラファインバブル個数濃度：約 4.6 億個/mL 以上を使用しました。

試験方法

- ・5 週齢の ICR 系雌雄マウスを使用しました。
- ・20 mL/kg のファインバブル水を投与する試験群と注射用水を投与する対照群を設定しました。
- ・投与後 14 日間に渡り、健康状態及び体重測定などを行いました。

結果

- ・観察期間中に異常は認められず、20 mL/kg のファインバブル水では毒性を示しませんでした。

- ・試験は、一般財団法人日本食品分析センターで行われました。

補足

- ・ファインバブルは様々な分野に活用が期待されています。そのため使用対象・気体種・ファインバブル濃度によってそのリスクも異なるものとなります。また、バブルを含む水等の品質も留意する必要があります。今回の試験結果で各種のファインバブルの安全を保障するものではありません。それぞれの製品毎に求められる安全性に関する情報が示されることを望みます。

以上